

はじめに

近年、国の基準等を画一的に適用するのではなく、それぞれの地域の実情や特性に合ったローカルスタンダード（local standard：地方標準）やローカルスペック（local spec.（specification）：地方規格、地域仕様）を定め、地域のニーズや課題に応じた適正な社会資本整備を進めていこうとする動きが出てきている。

四国では、国土交通省四国地方整備局と4県が協働して社会資本の整備・管理に関する「四国スタンダード」を策定し、個性豊かな四国らしい地域づくりを目指した取り組みが進められている。

また、愛媛県では、県民の目線に合った、県民が誇りを持てる等身大の県政の実現を目指して、県予算に「愛媛スタンダード枠」を設定し、全国一律の尺度に依ることなく、愛媛の地域特性や実態に即した独自性の高い制度・事業等の推進を図っている。

このような中、土木部でも、現下の厳しい財政状況や近年公共事業に求められている様々な課題に対応し、社会資本の整備・管理にあたってコスト縮減や環境保全等を進めるための県独自の取組施策を「愛媛スペック」として取りまとめた。策定にあたっては、愛媛の実情や地域特性等を踏まえ、コスト縮減、環境保全や景観への配慮、住民との連携・協働、安全・安心、高齢者や障害者への配慮等の推進に資する具体的な取組項目の選定に努めた。

愛媛スペックの内容は、「土木部愛媛スペック検討班」の若手職員が様々な観点から議論し、より良い社会資本の整備・管理を進めたいとの熱意をもって、多様な施策をまとめたものであり、土木事業において、愛媛の実情に即した身の丈にあった整備や愛媛らしい個性的な整備・管理を推進するための愛媛仕様として活用されることを期待する。